

はじめに

「引越してから2年たつけど、まだダンボールが残っていて家が片付かないんだよね」「たぶん家の中にあるけど、どこにあるかわかんない、探すの面倒なんだもん」「今度は収納があるから片付くと思っていたのに全然使えない家だわ」

「あーあ、もう誰かがどうにかしてくれないかなー」

この発言、7年くらい前の私です。家の中はいつもストレスがいっぱい。インドア派なのに家の中で落ちて着けず、愛着が持てませんでした。私は18歳で一人暮らしを始めてから15年間で11回引越しをしています。「新居に移ったら、次こそはキレイにしよう」と何度も心に誓うのに、引越して数か月後には、空かないダンボールの上に荷物が山積み、水回りは汚れ、毎日のように探し物をしている……。「いつになったら整ったゆとりある暮らしができるのかしら」と……嘆いていたものです。それから数年。長女を出産し専業主婦になったことをきっかけに、片付けに目覚めた私は、整理収納系のブログを読み漁り、収納特集の本に倣いながら、どうにか自宅を片付けられることができました。そんな中でライフオーガナイザー®という「思考と空間の片付けのプロ」に興味を持つことになりました。「もっと心地よく、もっと楽に」暮らすこと。そして片付けは能力や努力に頼るだけでなく仕組み作りで解決する点に共感を覚えました。これが私の知りたかった片

付けだ！ と資格を取得するにいたりました。

片付けの手法として、『全部出す』『選ぶ』『使いやすい場所に配置する』と学ぶのですが、ある共通点に気づきます。「引越しと同じだ！」引越しも、『家中の荷物を出し』『新居に持ち込む荷物を選ぶ』『どの部屋に何を収める』を考えると、流れも目的も片付けとほぼ同じ。「引越しのタイミングで、新居が片付けやすくなることを意識して準備すれば、そのあとの生活は楽になる。引越してから数年後に片付けをやり直すなんてもつたいない」と。

これは11回の引越しを経験して何度も失敗し、片付け方を学んだから気づけたこと。「誰もが引越し11回を経験し、失敗からやり直しするチャンスに恵まれるわけじゃない、一生に一度の新居への引越しを失敗するなんてもつたいない」「片付けの方法と引越し方を知った私だから伝えられることがあるはず」そんな思いから「引越しオーガナイザー」を立ち上げるようになったのです。私のように引越した後から片付けに悩むことが無いように、新居がお気に入りだけの空間になるように、本書が少しでもお役に立てば幸いです。